

POWER!

2025年
10月
vol. 94

令和7年(2025年)
10月20日発行
発行所 ●日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200
発行月 ●4月、7月、10月、1月

<https://www.yakuren.jp>

第27回参議院議員通常選挙を終えて

あの暑熱かった選挙戦が終わり、2か月が過ぎようとしています。季節の移り変わりは温暖化の影響もあってか、四季折々とはいかない気候ですが、猛暑も徐々に後退して熱気も冷めていくのではないかと思います。

改めて、このたびの参議院選挙におきまして、日本薬剤師連盟の会員各位をはじめとして、各業態の薬局の店頭に立って日ごろから患者さんや需要者の方々に接しておられる薬剤師や関連する多様な従事者の方々、さらに病院勤務の薬剤師の方々や女性薬剤師会の方々にも多くのご支援をいただきました。また、製薬産業や卸業務に携わる方々なども、医薬品産業全体からも多大なるご支援をいただきました。

加えて、選挙戦を通じて全国の多くの方々に温かい励ましの声を頂戴し、またSNSをはじめ様々な場でご支援を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。おかげさまで、皆さまの情熱に支えられ、逆風の吹く選挙であったにもかかわらず、難しいとされる「期目の戦い」に当選することができました。各候補者が、軒並み得票数を減らす中、前回選挙に比して得票数を増やしたことは評価しなければなりません。一方で、目標としていた20万票には届かず、次の参議院選挙に対する課題も明確になりました。



本田あきこ候補、参議院議員2期目当選!!

令和7年7月20日に行われた第27回参議院議員通常選挙において、本田あきこ候補は2期目の当選となり、参議院における薬剤師議員の二人体制を堅持した。

7月3日からの選挙活動においては、2台の街宣車が北ルートは北海道から、南ルートは沖縄からスタートし、初めて47都道府県薬剤師会を訪問した。また多くの地域で個人演説会を開催。ウェブも活用し本田あきこ候補本人からの決意を直接語り掛けることができたことは大きな成果であった。暑い中の長距離で街宣

車のスタッフも疲労がたまる中、7月19日には、両ルートからの街宣車が東京に集結。街頭での本田あきこ候補による熱い演説によりマイク納めを行った。

今回の選挙期間中においては、全国都道府県薬剤師会のSNS担当者による投稿、リプライ、シェア、配信活動も積極的に行われた。特にXへの集中的な投稿作戦やマイク納めのリアルタイム配信は得票に大きな影響を与えた可能性を秘めており、新しい選挙活動が功を奏したのではない。今後の選挙においてもSNSは重要な役割を担うことになる。

日本薬剤師連盟会長 岩月 進



選挙結果の詳細分析には多少の時間をいただき、反省すべきは反省して、次回の参議院選挙につなげていきたいと考えています。

そのうえで、これからの組織選挙の難しさは、関わる方々のボリュームの大きさからくる個々の繋がりや顔の見える関係性が見出しにくいところにあり、パーソナルな意見やライフスタイルの多様化等によって、組織の統一感を醸成することの難しさは増していくと思われます。このように、一人ひとりに政治信条や政治活動を伝えて、その結果としての選択された政治家を送り出し、評価・検証してゆくのが連盟活動の根幹になるでしょう。

本田議員には、国政の場所で医薬品に関わる人々すべての顔を思い浮かべながら、我々の事業活動を通じて国民の「いのち」と「暮らし」を守るため、誠心誠意、全力で取り組んでいただきたいと考えます。当連盟も、全力で本田議員の活動を支援してまいります。

改めて、支えてくださったすべての皆さまに感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第27回参議院議員通常選挙を終えて

日本薬剤師連盟幹事長 川田 哲



さきに行われた第27回参議院議員通常選挙は、本田あきこ参議院議員を日本薬剤師連盟の組織内統一候補として再度擁立し、自民党への逆風の中でかつてない厳しい選挙戦となったものの、見事2回目当選を果たすことができました。

自民党の支持率、内閣支持率ともに低迷する中、自民党に対する比例代表得票数は1280万票と3年前の1825万票から大幅に減らし、得票率も38%から21%に激減しました。このような中で、本田あきこ参議院議員は15万2518票を獲得し、12名中11位で当選することができたことは、大いに評価に値すると考えます。

さて、今回の選挙戦は公示後に街宣車2台を北は北海道、南は沖縄からスタートさせ、初めて全国47都道府県を廻りました。これに呼応するようにSNS(X、Instagram、Facebook

今回の選挙においては、自民党は強い逆風の中にあった。自民党の比例で当選した12人中本田あきこ候補は11番目の当選。得票数20万票を目標として挑んだが獲得票数は15万2518票で、6年前の参議院議員通常選挙に比べて約7千票減らした。ひとりひとりが当事者意識をしっかりと持ち投票活動につなげられることがより重要性を増してくる。当選はしたが目標得票数に満たなかったことは、全国に薬剤師が35万人いる中でこのような政局であっても確実な得票数を獲得できる組織であることの重要性がさらに浮き彫りとなった選挙であった。

風力計



日本薬剤師連盟
副会長 原口 亨

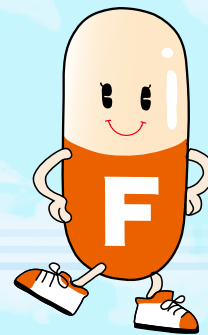
未来を変えるネットのチカラ

先日行われた参議院選挙において、本田あきこ議員が再選を果たされたことは、薬剤師をはじめ医療に関わる多くの者にとって大きな喜びであり、今後への期待を新たにすると出来事でした。今回の選挙戦において特筆すべきは、X(旧Twitter)、Instagram、TikTok、YouTubeといった多様なSNSや動画を積極的に活用し、広く発信を行った点です。とりわけ無党派層や若い世代に対して、その影響力の大きさを強く実感しました。

また、私たちと志を同じくする多くの支援者が、街頭活動や議員本人の動きをリアルタイムに共有し、政治と薬剤師の関わりを分かりやすく伝えてくださったことに深く感謝しています。こうした双方の発信は、従来の紙媒体や会合だけでは届きにくかった層へのアプローチを可能にし、薬剤師の社会的役割をより身近に感じてもらった契機になったと考えます。

今回の経験から、SNSは単なる情報発信の手段を超え、社会との接点を広げる強力なツールであることを再確認しました。しかし、これは一過性で終わらせてはなりません。継続してこそ、その効果は積み重なり、確かな力となります。変化を恐れず、新しい媒体や表現方法を柔軟に取り入れながら、次世代に向けた活動をさらに進めていくことが不可欠です。今回の成果を礎に、薬剤師と政治の関わりを一層深め、国民の健康と暮らしに寄与できるよう取り組みを続けたいと思っています。

全国を駆け抜けた17日間



～47都道府県を訪問、支援の輪が広がった街宣活動～

前回以上に厳しい情勢の中始まった選挙戦は、「薬剤師の声を国政に」という目標のもと、47都道府県を巡る街宣活動が展開された。街宣車は北ルート・南ルートに分かれ、北は北海道、南は沖縄県を出発点として全国を走行し、各地で薬剤師・薬業関係者・支援者との交流を重ねた。選挙戦最終日には、北・南2台が東京に集結し、マイク納めを実施。全行程を通じて、支援の輪を広げた活動の末、本田あきこ議員が薬剤師職能の代表として再び国政の場に立つこととなった。

スタート



沖縄



鹿児島



宮崎



大分



熊本



広島



山口



福岡



長崎



佐賀



岩手



青森



茨城



東京



東京



東京



東京



東京



東京



東京



東京



東京



東京



東京



東京



東京



東京



スタート

北ルート

- 1日目 北海道
- 2日目 北海道
- 3日目 北海道～(フェリー)青森
- 4日目 青森～秋田～岩手
- 5日目 岩手～宮城～山形
- 6日目 山形～福島～新潟
- 7日目 新潟～長野
- 8日目 長野～富山～石川
- 9日目 石川～福井～岐阜
- 10日目 岐阜～三重～愛知
- 11日目 愛知～静岡
- 12日目 静岡～山梨
- 13日目 山梨～神奈川
- 14日目 神奈川～千葉～茨城
- 15日目 茨城～栃木～群馬
- 16日目 群馬～埼玉
- 17日目 埼玉～東京

ゴール

東京

スタート



愛知



三重



北海道



静岡



岐阜



青森



山梨



福井



秋田



神奈川



岩手



岩手



千葉



富山



宮城



茨城



長野



山形



栃木



新潟



福島



群馬



埼玉



第27回参議院議員通常選挙 自由民主党比例結果		
1	特定枠	舞立 昇治
2	特定枠	福山 守
3	482,058	大童 周作
4	381,185	山田 太郎
5	218,072	見坂 茂範
6	187,946	東野 秀樹
7	176,404	橋本 聖子
8	174,434	釜淵 敏
9	166,025	有村 治子
10	152,649	石田 昌宏
11	152,518	本田 顕子
12	132,633	鈴木 宗男

●令和7年度 日薬連盟ブロック協議会開催予定一覧

開催日時	ブロック	会 場
9月23日(火) 13:00～15:00	東海	愛知県薬剤師会館
11月1日(土) 14:00～16:00	関東・東京	明治屋ホール 京橋モルチェ
11月29日(土) 15:30～17:30	九州	ホテル・レクストン鹿児島2F サルビア
12月7日(日) 13:00～16:00	四国	ホテルマイステイズ松山2階 エテルノ
12月14日(日) 10:00～13:00	北海道	北海道薬事会館3F 研修室 (ウェブ併用)
12月14日(日) 14:00～16:30	東北	ホテルニューカリーナ
12月21日(日) 10:00～12:30	中国	広島県薬剤師会館
12月21日(日) 13:30～16:00	北陸信越	ホテルグランテラス富山 (ウェブ併用)
R8年2月15日(日) 14:00～16:00	近畿・大阪	リーガロイヤルホテル京都

令和7年度

薬剤師首長・地方議員意見交換会が開催される

令和7年5月14日、東京・日本橋にて「令和7年度薬剤師首長・地方議員意見交換会」が開催され、全国から薬剤師である首長や地方議員が多数参集した。

冒頭、岩月会長からは「医薬品提供体制計画は行政との連携により実践が可能となる。全国各地で活躍する薬剤師が経験を共有し、より良い地域社会の実現に尽力していただきたい。また、7月に予定される参議院選挙は極めて重要な選挙である。ご協力をお願いしたい」との挨拶があった。

続いて、逢坂誠二衆議院議員、神谷政幸参議院議員からご挨拶があり、その後、本田顕子参議院議員より「薬剤師が地域の安全・安心に大きく貢献していること、そして国家資格としての薬剤師の重要性」について強調された。さらに、参議院選挙に向けて、そして今後の6年間、薬剤

師議員2名体制を堅持し、薬剤師のために全力を尽くす決意が表明された。

意見交換会では、参加者から日頃の活動や地域課題が報告され、薬剤師の役割を行政や市民に正しく理解してもらうことの重要性が改めて示された。特に、災害時における医療法上の位置付け、災害薬事コーディネーターやモバイルフーマシーを通じた貢献など、具体的な取り組みが紹介されたほか、地方議員として薬剤師の視点を市民に伝える戦略についても議論された。

本会を通じ、地域医療や住民生活を支えるうえで薬剤師の果たす役割、そして地方議員の責務の重要性が改めて確認された。薬剤師の専門性を生かした取り組みこそが、地域の未来を支える力となることを実感する有意義な意見交換会となった。



オレンジ日記

参議院議員・薬剤師 本田顕子



二期目にあたり ～感謝と決意～

本年7月の第27回参議院議員通常選挙では、日本薬剤師連盟を始め全国の薬剤師連盟の皆様にご指導とご支援を賜りました。改めて感謝申し上げます。

自由民主党は比例代表で1,280万8,306.775票、全政党得票数に占める割合にして21.64%の票を得て12議席を獲得し、私は15万2,518.704人の方(自民党の名簿登載者の名前で投票いただいた方の4.22%に相当)に個人名を書いていただき、党内11位で当選することができました。

7月3日の告示日から7月19日までの17日間の選挙期間中は元より、令和4年9月に組織内統一候補に決定いただいてからの約3年、更に選ばれ参議院議員1期目の6年間、本当にありがとうございました。

10月4日の総裁選を経て、自民党は高市早苗新総裁の下で比較第一党としての責任を果たしていくこととなります。本稿を御覧いただく頃には党内人事のほか、物価高対策などを念頭に置いた経済対策の策定及び補正予算の編成に向けた見通しが立っていることと思いますし、むしろ見通しを立てていなければなりません。加えて本年は薬価及び報酬改定や薬業界に関わる税制改正などが控えておりますので、必要な政策を具体的かつ速やかに実行していくための各党との政策協議でも汗をかき合意形成に力を尽くすことで、薬剤師・薬業界のため、国民及び日本国のために役割を果たしてまいります。

9月の日本薬剤師連盟臨時評議員会にて神谷まさゆき議員が次期参院選の組織内候補に決まりました。参議院での薬剤師議員二人体制を堅持することの大切さを強く感じていますので、体制の維持・強化に向けて引き続きご指導よろしくお願い申し上げます。



政幸だより

参議院議員・薬剤師 神谷政幸



病院薬剤師偏在解消への取り組み

2025年9月9日と10日の両日、石川県を訪問し病院薬剤師の偏在解消への取り組みを視察させていただきました。

9月9日石川県薬剤師会の乙田副会長、谷内事務局長とご一緒に、金沢大学附属病院薬剤部を訪問し、薬剤部長の崔吉道先生からお話を伺いました。患者のみならず医療者の高齢化や、医療介護福祉の需給ギャップが問題となっており、これらの問題は、将来さらに深刻化すると予想されています。薬剤師の偏在を解消する目的は、住民の健康を守る医療提供体制の確保にあります。

2018年、町立富来病院に初めて薬剤師の出向が行われました。その目的は単なる労働力の補完ではなく、薬剤師にとって魅力的な職場環境をつくることにありました。院長や町長とこの理念を共有し、全面的な協力を得ながら、課題の抽出、地域連携や薬業連携のモデル構築、さらには地域での学びを大学病院での教育に活かす取り組みとしてスタートしました。続いて、2022年4月からは2番目の施設として宇出津総合病院への出向が始まりました。こうした取り組みが評価され、2024年6月の薬剤業務向上加算の新設へとつながっています。

9月10日、石川県薬剤師会の中森会長、崔副会長、橋本副会長、乙田副会長、森戸常務理事とご一緒に、宇出津総合病院を訪問しました。院長は出向によってがん化学療法が再開できたことを大変喜んでおられました。薬剤部の先生方は、大学病院との連携によって医薬品情報に関するパイプが太くなったことや、地域薬局との顔の見える連携が進んだことをメリットとしてあげておられました。出向された先生からは、退院時指導や事前合意プロトコルの運用を通じて、薬業連携を実践的に経験できたとのことをお話を伺いました。

薬剤業務向上加算が新設され、これらの取り組みが全国で始まっています。病院と薬局との連携が行われ、地域全体の薬剤業務の向上につながるようしっかりと後押しさせていただきます。

編集後記

自動改札の在り方

参議院選挙も無事終了し、国際学会に参加するためにデンマークのコペンハーゲンに1週間程滞在した。事前に購入していると改札もノーチェックで乗降できるチケット証明書(有効期間、氏名、チケットナンバー、IDタイプ、クレジットカードの最後の4桁の数字と共にQRコードが記載されている証明書でバス、電車、メトロも自由に乗車できるもの)を購入し、ホテルから学会会場まで公共機関のメトロを利用した。

既に乗車された経験のある方もおられるのではないかと思います。改札も日本のようにタッチしてエラーが出る通れないような障害物が出るものではなく、柱にタッチするセンサーがついているだけで自由に行き来できるものである。電車も無人で運行しており、無賃乗車の検査員が時々見回っているようではあるが、私が乗車した時にはチェックを受けたことはなかった。ご参考までに無賃乗車が見つかった場合は750クローネ(1クローネ24円として日本円で18000円)の罰金が課されるようである。

無賃乗車をしないという教育のもとでの運用と考えるが、慣れると非常に便利なシステムである。IT化が進んでいる国での対応であるが、労働人口が減少する日本においても検討する価値があるのかも知れない。

(K・I)

広報委員

原口 亨、丹羽 松弘
浜田 嘉則、橋本 昌子
和泉啓司郎、小屋敷淳子
山原 大輝、渡邊美知子